

## 子供の育て方

醫學士 竹 内 薫 兵

「子供の育て方」などと申しましても、中々一口では云ひ得るやうな簡單なものではありませんで、三四日も話し續かねばならないのです。然しながら、單時間後、ごくぐのあらましを申して見ようと思ひます。

子供は申すまでもなく大切なものでございますから、育てます時にも、ほうりばなしにして置いてはなりません。弱い子供も、育て方に注意したゝめに、將來健康な子供になるのであります。子供の育て方を特別に考へなくとも、「わたしのおばあさんも丈夫だつた、わたしのおぢいさんも丈夫だつた」と云ふ人もあります。然し、これは、統計等といふ研究が進んでゐない昔だからこそ、こんな事を云つてもよろしいのであります。近年のやうに統計が正確につくられてゐるのを見ますと、我が國に於ての死亡率、殊に兒童の死亡率が多いのであります。統計の通りに進んでゆくものならば、將來五十年間に、

日本は生産率よりも死亡率が多くなつて、生れない先きに死んでゆくといふ恐ろしい事になります。それ故に 一方に於ては子供の死亡率を防ぐ、他方に於ては老人の死亡率を防ぐことが必要であります。

赤んぼを育てます上に、一番大事な事は、泣き方に依つて赤んぼが何を要求してゐるかを注意することです。赤んぼは、抱かれない時にも泣きまゝ何かに刺されて痛い時にも、頭の痛い時にも、胸の悪い時にも、色々の場合に泣くのであります。それ故に、赤んぼが泣けば直ぐお乳をやる、と云ふのは衛生上害があることであります。

まづ、赤んぼは、お腹の痛い時には、泣き方が短く、足をばたくゝ動かします。さうして著物をぬぐと、お腹が張つて居ります。

頭や耳や胸や痛む時には、短時間はげしく泣きまゝす、脳膜、肺炎、中耳炎等の場合には、皆この泣き

方をいたします。

長く強く泣き叫ぶ時は、空腹のときであります。

赤んぼが、手足を動かして長く泣く場合には、抱かれないのであります。

赤んぼが、突然に泣き出して、體を動かさぬ場合には、體が何かに刺されてゐるのであります。著物に間違つて針等がないか、又蟲にでも刺されてゐるのではないか、とよく見てやらなければなりません。

「泣く子と地頭には勝てぬ」、と昔から云つて居りますが、子供が泣く場合には、よく泣き方を研究して見まして、赤んぼが何故に泣くかを、はつきりと知つて、要求を充たしてやらなければなりません。

次に、子供を育てます母親にとつて、常に驚かさねます事は、痙攣ヒキケンであります。大人の場合で熱がある時は、赤んぼの場合では痙攣になるのであります。痙攣の起る場合には、お腹が悪い場合もあれば、脳に故障が起る時もあります。痙攣は覺醒するものであります。死ぬのは他に病氣が起つて、その経過がよくなつて死ぬのであります。痙攣は習慣となり得ますから、よく注意して治るやうにせねばなり

ません。

痙攣した折、子供の名を呼ぶのは、何の利にもなりません。又、顔へ水をかけたり、薬を口うつしをして與へたりする事は、却て害になります。薬を與へますと、正氣にかへりて息をつく時、薬が氣管にはいつて、それから肺の方へ入り、肺炎などになる場合があります。又、生薑をすつて水にどかし、鼻の中へ入れたりする事も、鼻を刺戟するばかりで、よくない事であり得ます。「ひきつけ」の場合には、次のやうな手當をする事が必要であります。

一、帶をどいて、體をゆるやかにすること。

二、子供を抱いてはいけない。

三、枕はさせない方がよい、もしさせるなら首にあてゝさせること。

四、口からは薬も何もやつてはならぬ。やるなら肛門から與へた方がよろしい。

五、大便は灌腸で取つた方がよろしい。

次に、赤んぼが下痢をした場合にはどんな手當をしてよろしいか、お話しして見ませう。大便が五六回から七八回もあつて、色が青くなり、水のやうになつて、菜種のやうなものが交つてゐたり、鼻のや

うなものが交つてゐたりする場合は、子供の病氣としてよくある事で、又それで以つて、往々死ぬ事がありますから、注意せねばなりません。

一、子供は何を食べたか、牛乳であつたか、母乳であつたか、それとも他の食物であつたか。もし、人乳であればそれほど心配しなくてもよろしいが、他の食物であれば油断が出来ないのであります。

二、大便に水が多く交つてゐる時は、悪い徴です、青色になるのは、別に差しつかへのない時もあります。

三、下痢を起した時は、直ぐとめてはいけないのであります。ひもじい目をさせてもよいから、食物を餘り與へないやうにして、自然的に下痢をとめるやうにせねばなりません。

日本に於て死亡率が多いのは、赤んぼの育て方が下手なためであります。もう少し、母親たちが注意しましたら、何とか強健な子供に育て、我が國の死亡率を減少させることが出来ると思はれます。

(文責在記者)

## 會 告

大正十一年下半年分會費(大正十一年七月後の分まで既にお拂ひ込みの方に對しては十二月分までの残り)を御拂込み願ひ度く、近々に集金郵便を發行いたしますから、何卒御支拂ひ願ひます。

御留守中にも御わかりになる様御用意置き願ひます。

會計の整理上、今回の會費御納附は一切集金郵便におより下さる(直接の御拂込みを煩はさず)様願ひます。

六 月

日本幼稚園協會會計

會員各位